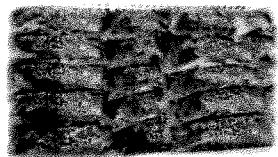


就労継続支援 A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労支援事業所 さくら
住 所	鹿児島市慈眼寺町23-20
電話番号	099-204-7101

事業所番号	4610104533
管理者名	三善 美佐代
対象年度	令和3年

地域連携活動の概要	
＜活動内容＞	＜活動の様子＞
活動場所 株式会社 しかや 実施日程 2021/4/1～2022/3/31 実施した生産活動・施設外就労の概要 施設内・施設外の就労 ・こんにゃく、大豆製品、納豆製品等の製造補助、小分け、検品、箱詰め、シール貼り等。 ・建物内・工場の清掃作業等。	活動の様子の写真  
そのもの 株式会社 実施日程 2021/4/1～2022/3/31 実施した生産活動・施設外就労の概要 施設内・施設外の就労 ・通信販売の商品出荷作業、納豆製品の製造、小分け、検品、ピッキング、シール貼り等。 ・建物内の清掃作業。	成果物の写真  
利用者数 定員20名（1日12名程度と職業指導員2名）	地域内容の追加コメント
＜目的＞ 地域連携活動のねらい：地域の生産活動の向上 地域にとってのメリット：人手不足の解消 対象者にとってのメリット：一般により近い作業内容の提供をしており、社会性やビジネスマナーを身につける	毎朝、朝礼をして1日の作業内容・作業配置の確認、健康チェック。作業に入って職業指導員の指示のもと、各作業場所のメンバーと協力しあいながら作業を進める。作業が全て終了したら各自、作業報告・反省をして帰る。
＜成果＞ 実施した結果：作業のスキルアップ・製品を作り上げるまでの協調性が身についている。 得られた成果：製品を作る事により、仕事に対しての責任感がついている。 課題点：製造品質のさらなる向上の為のスキルアップ・1人1人のコミュニケーション能力のスキルアップを上げる。	

連携先の企業等の意見または評価			
連携した結果に対する意見または評価			
いつも細かいところまでチェックが行き届いており、発送ミスもほぼゼロで助かっております。作業が丁寧で早く、大変信頼が高いのもっともっといろいろな仕事で、お付き合いできればと思っております。			
今後の連携強化に向けた課題			
作業の報告・連絡・ミスの無いよう連携を強化し、製造品質の向上に向けさらなるスキルアップが求められる。			
連携先企業名	そのもの 株式会社	担当者名	日高

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(全体)

事業所名	就労継続支援A型 就労支援事業所 さくら
住所	鹿児島県鹿児島市慈眼寺町23-20
電話番号	099-204-7101

事業所番号	4610104533
管理者名	三善 美佐代
対象年度	令和3年

(I) 労働時間	
①1日の平均労働時間が7時間以上	
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	○
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満	
⑧1日の平均労働時間が2時間未満	
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点	

45
点

(II) 生産活動	
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上	
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上	
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	
①40点 ②25点 ③20点 ④5点	

40
点

(III) 多様な働き方(※)	
①免許・資格取得、検定の受験動機に関する制度	
就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
②利用者を職員として雇用する制度	
就業規則等で定めている	○
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○
④フレックスタイム制に係る労働条件	
就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
⑤短時間勤務に係る労働条件	
就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○
⑥時差出勤制度に係る労働条件	
就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	
就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○
⑧傷病休暇等の取得に関する事項	
就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○
小計(注1)	9

35
点

(IV) 支援力向上(※)	
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	
参加した職員が1人以上半数未満であった	
参加した職員が半数以上であった	○
②研修、学会等又は学会誌等において発表	
1回の場合	
2回以上の場合	○
③視察・実習の実施又は受け入れ	
いずれか一方のみの取組を行っている	
いずれの取組も行っている	○
④販路拡大の商談会等への参加	
1回の場合	
2回以上の場合	○
⑤職員の人事評価制度	
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○
⑥ピアソーターの配置	
ピアソーターを職員として配置している	
⑦第三者評価	
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものとの認証を受けている	
小計(注2)	10

(※) 任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

35
点

(V) 地域連携活動	
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○ 10 点

1事例以上ある場合:10点

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 45点 55点 70点 80点 45
生産活動	5点 20点 25点 40点 40
多様な働き方	0点 15点 25点 35点 35
支援力向上	0点 15点 25点 35点 35
地域連携活動	0点 10点 10 10

合計
165 点 / 200点

(※) 任意の5項目を選択すること

(注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(I) 労働時間					
前年度（3年度） 雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	19,064 時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,184 人	利用者の1日の平均労働時間数	4.6 時間
(II) 生産活動					
金計期間（R1年9月～R3年8月） 前々年度（2年度） 生産活動収入から経費を除いた額	34,355,032 円	利用者に支払った賃金 総額	13,880,357 円	収支	20,474,675 円
前年度（3年度） 生産活動収入から経費を除いた額	30,847,625 円	利用者に支払った賃金 総額	14,328,155 円	収支	16,519,470 円
(III) 多様な働き方					
前年度（R3年度）における実績（全体段「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）					
①免許・資格取得、検定の受検動向に関する制度 ◎免許・資格取得、検定の受検動向 に該する制度を活用した人數 ※取得を進めた免許等 制度の活用内容：	②利用者を職員として雇用する制度 ◎職員として雇用した人數 うち1名は雇用継続期間が6月に達している うち1名は前年度末日まで雇用継続している *雇用した日 年 月 日 勤務形態： 就業時間： 時 分～ 時 分 職務内容：	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 ◎在宅勤務を行った人數 *実施した期間：3月15日～3月16日 就業時間（在宅勤務）：9時30分～15時00分 職務内容：一般就労に向けて、ビジネスマナーの研修の受講、レポート作成			
④フレックスタイム制に係る労働条件 ◎フレックスタイム制を活用した人數 *実施した期間：月 日～月 日 就業時間（コアタイム）：時 分～時 分 職務内容：	⑤短時間勤務に係る労働条件 ◎短時間勤務に従事した人數 *実施した期間：R3年4月1日～R4年3月31日 就業時間（短時間）：9時30分～15時00分 職務内容：食品製造	⑥時差出勤制度に係る労働条件 ◎時差出勤制度を活用した人數 *実施した期間：月 日～月 日 就業時間（早出の場合）：時 分～時 分 就業時間（遅出の場合）：時 分～時 分 職務内容：			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 ◎時間単位取得を活用した人數 ◎計画的付与制度を活用した人數 ※取得した制度 有給休暇の時間単位取得 計画的付与制度 取得した期間：4月 1日～3月 31日 取得日数・時間 15日 60時間	⑧傷病休暇等の取得に関する事項 ◎傷病休暇等を取得した人數 *取得した内容：精神疾患により療養 取得した期間：R3年8月26日～R3年11月30日 就業時間：9時30分～15時00分 職務内容：食品製造	(※)当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載			
(IV) 支援力向上					
前年度（R3年度）における実績（全体段「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 ◎研修計画を策定している ◎研修実施回数 外部 12回／内部 2回 対象職員数 10 人 うち研修受講者数 8 人 研修名 着障障害について 研修講師 鹿児島大学 高標準教授 実施日・受講者数 7月 9日 8人	②研修、学会等又は学会誌等において発表 ◎研修、学会等又は学会誌等において 発表している回数 2 回 ※研修、学会等名 舟井総合研究所 研修会 実施日 3月 18日 ※研修名等名 ユニカレッジ記念講演 掲載日 3月 13日 発表テーマ 障害者の就労について	③視察・実習の実施又は受け入れ ◎先進的事業者の視察・実習の実施している ◎他の事業所の視察・実習を受け入れている ※先進的事業者名 南風ベジファーム 実施日/ 参加者数 10月 13日 3人 ※他の事業所名 みらいすみ 実施日/ 参加者数 12月 15日 2人			
④販路拡大の商談会等への参加 ◎販路拡大の商談会等への参加回数 10 回 ※商談会等名 クラウドファンディング 主催者名 鹿児島県 日時 R3.7～R4.2 内容 クラウドファンディング CAMPFIRE で新商品の販路拡大を目指した	⑤職員の人事評価制度 ◎職員の人事評価制度を整備している ◎当該人事評価制度を周知している 人事評価制度の制定日 R1 年 9 月 1 日 人事評価制度の対象職員数 26 名 うち昇給・昇格を行った者 13 名 当該人事評価制度の周知方法 自己評価、上長評価の上提出。評価項目の配布。	⑥ピアソポーターの配置 ◎ピアソポーターを配置している ◎当該ピアソポーターは「障害者ピアソポーター研修」 を受講している *配置期間 月 日～月 日 就業時間 職務内容			
⑦第三者評価 ◎前年度末日から過去3年以内に 福祉サービス第三者評価を受けている ※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関	⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 ◎国際標準化規格が制定したマネジメント 規格等の認証等を受けている ※認証を受けた日 月 日 規格等の内容	(※)実績のうち1事例を記載			

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。
必要に応じて行を増やす等。